

## 主日礼拝

2021年6月20日  
午前10時30分

## 前奏

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「どのような人が、主の山に上り

聖所に立つことができるのか。

それは、潔白な手と清い心をもつ人。

むなしいものに魂を奪われることなく

欺くものによって誓うことをしない人。

主はそのような人を祝福し

救いの神は恵みをお与えになる。

それは主を求め人

ヤコブの神よ、御顔を尋ね求める人。」

(詩編24:3~6)

## リタニー「感謝を何に」

司式者：海の水、空の光、風たちは、約束どおり働いて、

みんな：青い地球を守ります。

司式者：動物、植物、虫、魚、

みんな季節を守ります。

みんな：まるい地球の家族です。

司式者：食べ物、着物、住む家は、

みんな：神さまからのプレゼント。

一緒に：感謝を何にささげましょう。

司式者：飢饉、洪水、貧しさは、

みんな：地球家族のチャレンジテスト。

司式者：助け合いこそ、感謝のしるし。

みんな：分かち合いこそ、感謝のしるし。

一緒に：神さま、まごころささげます。アーメン。

## 祈禱

献金 献金箱が受付に置いてありますので、  
礼拝前にお献げください。

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、

ねがわくは み名をあげめさせたまえ。

み国を来らせたまえ。

みこころの天になるごとく

地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。

我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、

我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、

悪より救い出したまえ。

国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの

なればなり。

アーメン。

## 聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ 8:1~15

新約(新共同訳) P333~P334

兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。わたしは証ししますが、彼らは力に依りて、また力以上に、自分から進んで、聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、わたしたちはテトスに、この慈善の業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるようにと勧めました。あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい。

わたしは命令としてこう言っているのではありません。他の人々の熱心に照らしてあなたがたの愛の純粋さを確かめようとして言うのです。あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。この件についてわたしの意見を述べておきます。それがあなたがたの益になるからです。あなたがたは、このことを去年から他に先がけて実行したばかりでなく、実行したいと願ってもしました。だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることです。進んで行う気持があれば、持たないものではなく、持っているものに依りて、神に受け入れられるのです。他の人々には樂をさせて、あなたがたに苦勞をか

けるということではなく、釣り合いがとれるようにするわけです。あなたがたの現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして釣り合いがとれるのです。

「多く集めた者も、余ることはなく、  
わずかしか集めなかった者も、  
不足することはなかった」  
と書いてあるとおりです。

## 賛美 443(1,4,5) 「冠も天の座も」

Thou didst leave Thy throne  
詞：Emily E. S. Elliott, 1836-1897

MARGARET  
曲：Timothy R. Matthews, 1826-1910



1 かんむりもてんのざもおしまずにすてて  
4 かなしみなやむものをときはなつイエスを  
5 てんごくにえいえんのへやをそなえられ、



地にくだるみ子イエをとめるへやはなし。  
▶ ゴルゴタでくるしめたひとのうみぶがさ。  
しょうりの主はわたしをみもとによばれる。



1~4 おいでください、イエスよ、ここに、このむねに。  
5 よろこびにあふれて主のもとにゆこう。

## 説教 「献げ、分かち合う」

## 賛美 512(1,2,4) 「主よ、献げます」

Take my life and let it be  
詞：Frances R. Havergal, 1836-1879

MESSIAH  
曲：Louis J. F. Hérold, 1791-1833




1 主よ、ささげます、わたしのいのち、  
2 主よ、ささげます、わたしの手あし、  
4 主よ、ささげます、わたしのあいを、



あなたのためにもちいてください。  
▶ みわぎのためにもちいてください。▶  
▶ ちえもちからもたからもすべて。▶



いまこのときもこれからのもちも  
▶ さしのべる手をあいの手として、▶  
▶ わたしのうちにあなたがずんで▶



み名をたたえてひびすごします。  
▶ へいわつたえる主のあしとして。  
▶ みむねのままにもちいてください。

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝祷

## アーメン



アーメン アーメン アーメン

## 後奏

司式 塩冶 みはる  
説教 向井 希夫牧師  
奏楽 福原 之織

※お立ちになるのが困難な方は、  
座ったままで礼拝をお守り下さい。  
※讚美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。